

学部生のBYOD環境を前提とした教育実習におけるICT活用

学部生へのBYOD

- ・ 教員養成課程において
ますます求められるICT活用能力



- ・ **ICT化・グローバル化への対応**
 - ・ ICT活用能力：教員志望の学生が在学中に培う能力のひとつ
 - ・ ICT環境の活用 → 主体的な学び
 - ・ 教育実習や教員採用試験，初任者教育においても，ICTの活用が謳われている。
- ・ **ICT環境の整備**
 - ・ 平成27年度学部入学生より，情報端末の必携化 (Bring Your Own Device; BYOD) を実施。

附属学校園での大学Wi-Fi

- ・ **附属学校園への新しい無線LAN APの導入**
 - 2016年11月，附属平野小学校
 - 2017年11月，附属高等学校天王寺校舎（一部）
 - 2018年12月，附属池田小学校
 - 2019年3月，附属池田中学校（一部），附属高等学校池田校舎
- ・ **大学用のSSIDが附属でも利用可能に**
 - 教育実習で，本学学生が大学と変わらない環境で無線LANを利用可能に
 - 研究会等で，本学教員が個人端末で無線LANを利用可能に

教育実習における実習生のBYOD

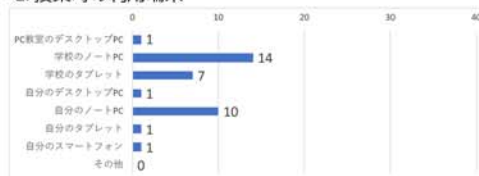
- ・ **PC必携世代の学年が教育実習を実施**
 - 積極的な教育実習でのPC活用をアナウンス (附属池田小学校への協力依頼)
- ・ **実習中の情報端末の活用について事後アンケート**
 - ・ 2019年9月，実習実施中に実施。
 - ・ 本学実習生34名から回答を得る。(他大学からの実習生は対象外とした)

Q4 - 2: 学習指導案の作成環境



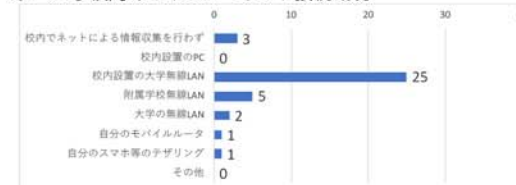
- ・ 学校の環境の利用は無し。
- ・ 実習生自身が所有する端末を活用。

Q6 - 2: 授業時の利用端末



- ・ 授業時に自身が所有するPCを活用する場面も。

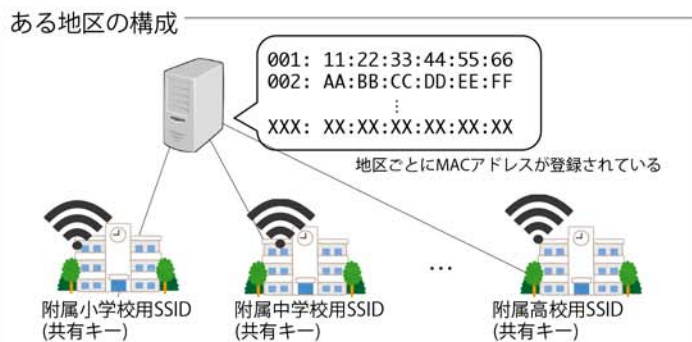
Q7 - 2: 学校内でのインターネット接続環境



- ・ 大学共通のWi-Fiを積極的に活用する様子を観測。

附属での学内Wi-Fiの統一に向けて

- ・ **MACアドレス認証 (機器登録)**
 - ・ **WPA2-PSK (共通キー認証)**
- 学校所有の端末 → 情報担当教員が管理。



問題点

- ・ 論理的な無線LANの分離 (生徒用/教員用/ゲスト用)
- ・ 附属学校園としての無線LAN (大学教員・学生が利用できない)
- ・ インシデント発生時のユーザ追跡 (時間がかかる)
- ・ 地区内で相互利用不可 (学校ごとにSSIDを変更しているため)
- ・ 煩雑な登録作業 (登録のステップ増 → セキュリティ○, 自由度×)

改善すべき点

- ・ 複数の論理的な無線LANの設定 (学校用/構成員用/ゲスト用)
- ・ 大学で展開済みの無線LAN環境を導入 (大学教員・学生利用OK)
- ・ 同時接続台数の強化 (機器のリプレイス)



今後の動き

- ・ **BYODで抱える情報の識別・体系化 (セキュリティ)**
 - 業務用ではない端末をどこまで利用してよいのか。
- ・ **個別学習・協働学習ツールに向けた授業への活用**
 - 一斉授業活用での授業者からのニーズは観測。
 - 学習者の活用に向けた情報端末の活用へ。